



令和3年5月1日現在
総世帯数 1,402世帯
総人口 2,518人
男 1,197人
女 1,321人

子どもって若さですわね！

中条東第一町会
丸山 直道

数年前から松本市のシルバークラブとして郊外の保育園へ出掛けて子どもたちと遊んだり、給食を食べたりしています。いわゆる「おじいさん先生」というやつで、たくさんさんの可愛い孫に囲まれているようなありがたい時間を過ごさせてもらっています。

保育園では二歳から六歳くらいの子とも付き合っています。よく子どもに何歳かと聞かれますが、彼らの十倍以上の数字を説明するのはとても難しく、私が何歳なのかはよく理解することは難しいようです。ですから自分とは別の生き物を見るように「なんで先生は髪の毛がないの？」とか、「なぜ手のひらがツルツルじゃあなくてシワシワなの？」など不思議そうに聞いてきますし、観察するために触りたくてしょうがないようです。

ないようです。

あべこべに子どもは本当に若いです(当たり前)。みずみずしく新鮮な感覚で精一杯元気に過ごしています。程度など無関係でストリートに生きています。疲れを知らずいつも走り回り、筍のように日々成長しているわけです。こうした素敵な子どもたちから、上から目線で「子どもだから」とか「子どものくせに」となどは決して言えないなど肝に銘じています。子どもをよく見て、子どもの声や訴えに真剣に耳を傾けることで、子どもとの距離が縮まり、仲良くなれたなあと感じることができた時は本当に最高の喜びです。

子どもの持つ「若さ」とは何だろうか？と考えていたところ、柳家小三治師の古い著書「落語家論」にこんな文章を見つけました。『若いってえのは何だろう。この先、まだ何かあるかもしれないぞ。今まで出逢えなかった素晴らしきものに、あしたは出逢える

かもしれないぞ。…と、明日に胸がふくらむむひとは、若いってことじゃないかしら。』子どもとかけっこしても絶対に勝てませんが、気分だけでも子どものようなみずみずしさや師匠の言う「若いってこと」を目指してこれからは過ごせたら嬉しい限りです。保育園で子どもたちからたくさん貰っています。子どももってかけがえない存在ですから、大切にしたいものです。



ペットについての雑考

中条東第一町会
井野根 修

最近よく見る動物愛護協会のテレビコマーシャルがあります。

アニメーション動画で母親

と娘が登場して「親切な人にみつけてもらってね」と言いながら犬を捨てるシーン。すかさず「優しい子に聞こえてもこれは犯罪者のせりふです。どんな理由があろうと、どんなに心を痛めようと動物を捨てること、虐待することとは犯罪です」というナレーションが入ります。

なんだか美談のように描かれています。尊い命を捨てるシーン。ナレーションを聞いて、ああ、そうか、と考えるきっかけを与えてもらったように感じました。

私たち夫婦が犬を飼い始めたのは結婚してすぐでした。その後、約40年間ずうっと犬と一緒に、10年経った頃から小型犬は妻が、大型犬は私かと分担を決めて2頭飼うようになり、多い時には3頭の世話をしていることもありまし

た。そんな風でしたので、2年前に18歳でシベリアンハスキー犬が亡くなり、近頃では、『また、大きな犬が飼いたい！』という欲求と、『僕は今年で70歳になる。今度飼う犬が18年生きるとして、僕は生きていられるだろうか』との思いで迷っていました。その私が『18年後といえば

88歳。僕が先に逝ってしまつたら残された犬が可哀想。飼うのはよそつ』と結論を出したのは前述したコマーシャルのお陰だと感謝しています。今は、5月で11歳になるミニチュアシュナウザーの女の子が長生きしてくれることを願っています。そのためにはその子の健康管理が大事で、散歩のたびの排便チェックが一番の方法だと思つのですが、散歩コースにしょっちゅう落ちてはいる他犬の排便を片付けながら首を傾げている毎日です。マナーを守ってペットライフを楽しもうと思いま



ご挨拶



第二地区
町会連合会長
青柳 孝明

『見えぬ敵』の影響で、二年度は各町会・団体の事業に影響が。三年度も同様に推移するのかと危惧されます。そんな状況下ではありませんが、引き続き第一地区発展のために、微力ながら尽力をして参りたいと思います。宜しくお願い申し上げます。

新任センター長挨拶



第二地区
地域づくりセンター長
二木 昭彦

4月の人事異動により山岳観光課から第一地区地域づくりセンターに着任しました。今回初めて地域づくりの仕事をお任せいただきました。私は地域の皆さんと一緒に、地域の抱える課題をひとつずつ解決していきたいと思っています。現在、コロナ禍において地域の絆が希薄となってきていますが、公民館活動と連携し地域づくりに努めてまいります。

令和3年度
町会役員

(◎会長 ○同副)

- 町会長
 - 南源地 筒井 完次
 - 北源地 川上 明彦
 - 梅ヶ枝町 太田 賀夫
 - 長沢町 ◎青柳 孝明
 - 錦町 竹平 隆一
 - 栄町 田口 康夫
 - 常盤町

新町会長紹介



中条東第3
乾 康弘



宮村町2丁目
丸山 悦雄



飯田町1丁目
小林 隆志



飯田町2丁目
村上 重義

- 中条東第1 原 喜一郎
- 中条東第2 岩佐 仁
- 中条東第3 乾 康弘
- 中条東第4 上兼 誠市
- 向島 上條 一茂
- 宮村町1丁目 瀬原田久隆
- 宮村町2丁目 丸山 悦雄
- 天神南小池町 曾根原清司
- 飯田町1丁目 小林 隆志
- 飯田町2丁目 村上 重義
- 小池町 碓屋 公章
- 町内公民館長
 - 南源地 茅野 幸隆
 - 北源地 ◎大野 貴由
 - 梅ヶ枝町 中嶋 弘壽
 - 長沢町 小林寿美子
 - 錦町 下林 清次
 - 栄町 竹平 隆一
 - 常盤町 市川 英夫
 - 中条東第1 武井 一幸
 - 中条東第2 松宗佳代子
 - 中条東第3 飯田 章子
 - 中条東第4 中野 正恵
 - 向島 鶴川 貴章
 - 宮村町1丁目 深澤 正篤
 - 宮村町2丁目 小林 敬司
 - 天神南小池町 横山 和明
 - 飯田町1丁目 林 真
 - 飯田町2丁目 村上 圭子
 - 小池町 ◎鴻田 益孝

- 公民館五部門委員
 - 副会長 秋山 博見
 - 松田 妙子
 - 小林 純子
 - 上條 一茂

●第二地区職員の紹介

4月からの地域づくりセンター・福祉ひろば・公民館の職員体制です。また、第二地区には、生活支援コーディネーターが配置されておりますので、併せて紹介いたします。

▼地域づくりセンター

- センター長 二木 昭彦
- 福祉ひろば
- コーディネーター 野口恵美子
- 小澤麻由美

▼公民館

- 館長 早坂 義導
- 主事 窪田 陸
- 事務員 小笠原利恵
- 今井 史
- 生活支援コーディネーター 林 邦枝



小澤 麻由美、野口 恵美子、小笠原 利恵、今井 史、林 邦枝、窪田 陸、二木 昭彦、早坂 義導



本年4月、松本市は全国61番目の中核市としてスタートしました。中核市とは地方自治法に定められた都市区分のひとつで、人口30万人以上が要件とされ、20万人以上と緩和されたことにより要件を満たすことになりました。平成28年に策定した松本市総合計画「第10次基本計画」に中核市移行の方針を打ち出し、昨年10月に閣議決定され、正式に決まったという経緯だったようです。

中核市となったことによる大きな変化は、市独自の保健所が県松本合同庁舎1階に設置されたことですが、他にも迅速に行政サービスを行なうために県から約2,300の事務権限の移譲がされることになっていくとつです。心配なのは、まだ慣れず、かつ人員不足が懸念される松本市保健所の所管でコロナウイルスワクチンの接種が始まることです。杞憂であればいいのですが、職員の皆さんの過重労働が気になります。松本市は中核市となり、周辺の2市5村で連携中核都市圏を形成して発展することを望みます。(井野根)